

06 知識・技能を身に付ける

取組事例

24

森や木に関して理解をし、木にふれ、工作を楽しむ

ひまわり学童クラブ 小学1～6年生



ノコギリで丸太切りをしている様子

実施時期	令和5年8月
実施場所	保育室及び戸外通路
時間	2時間
対象・人数	小学1～6年生 25人
講師	森のせんせい3人（館 俊樹氏、向田恵子氏、山根由士氏）
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林教育出前授業

めざす姿	06 知識・技能を身に付ける（ 01 遊び・楽しむ、 02 親しむ、 03 興味・関心を持つ）
ねらい	森林や木の役割を知り、木にふれ木を使うことの意義について考える
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の森林のようすや森のはたらき、木を使うことの意義をクイズ形式で学ぶ ・3つの遊びや物作りの体験をする （1）木のおもちゃで遊び、木の香りや肌触りを感じ、親しむ （2）ノコギリで丸太を切る体験をする （3）丸太から切りだした円盤でコースターやオブジェを楽しむ
学習指導要領との関連	森林と人々の暮らし（小学5年生社会科） 面白さ・不思議さ（小学1～2年生生活）、創作遊び（小学1～3年生図画工作）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、自然環境と地場産業（小学4年生社会科）、森林資源のはたらき・森林資源と木材生産（小学5年生社会科）、創作活動（小学4～6年生図画工作）、地域の自然環境と人々の暮らし（小学生総合的な学習の時間）



コースターやオブジェを作っている様子



木のおもちゃを使って遊んでいる様子



完成した作品

子どもの反応	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて見るたくさんの木のおもちゃに興味深々の子どもたちは、次々とあらゆる種類のおもちゃで遊び、大興奮でした。 ・「もりぼーる」が出されると、子どもたちの目が輝き、触ってみたい寝転んでみたい、木の匂いや感触を楽しんでいました。 ・丸太切り体験では、丸太を抑えながら、友達がノコギリを使っているのを見て、自分の番になるのをワクワクドキドキしながら待っていました。順番が回ってくると、思うように扱えないノコギリに悪戦苦闘しながら、切り取った瞬間の達成感を味わっていました。
学童クラブのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・森のせんせいの丁寧な言葉がけで、子どもたちは挑戦してみたり工夫したり、伸び伸びと色々な体験に取り組むことができました。 ・木の匂いや感触を確かめたり、丸太切り体験など貴重な体験ができました。 ・世界に一つしかない素敵なオブジェに感動しました。